

● 同盟文芸

映画「わが青春つきるとも」——伊藤千代子の生涯」制作
支援運動の中、詩吟「ああ伊藤千代子追悼詩」を創る

木越 暁

私たち治安維持法国賠同盟滋賀県本部は映画「わが青春つきるとも」——伊藤千代子の生涯」の制作支援運動の一環として詩吟「伊藤千代子追悼詩」をつくり、私が所属している革新の詩吟団体「新興吟詠会」を通じて今、全国各地の新興吟詠会支部や同映画制作支援の会の「つどい」などでこの詩吟が吟詠されています。

私がこの詩吟をつくるきっかけとなったのは藤田廣登さんの「時代の証言者 伊藤千代子」を読んで改めて千代子の生きざまに感動したこと。新興吟詠会滋賀県支部で「ジェンダー平等」の学習をしている中から私に作詩を依頼されたことがきっかけとなりました。

詩吟は「上平声十三元」の平仄や押韻に沿った漢詩形態とし、藤田廣登さん著書名にある「伊藤千代子 時代の証言者」の文字と「ジェンダー平等」などの言葉は詩文に加えるため7字4行の七言絶句の中に短歌や俳句を挿入する漢詩の作法に沿って7字4行の句を加えました。その中の句にも7字目の押韻を加えているので漢詩の作法をきちんと整えた詩吟として新興吟詠会（本部・大阪市）のお墨付きを得、新興吟詠会の大阪、東京、京都、滋賀、北海道などの各支部で吟詠され詠い継がれています。また同映画支援の会運動の中、藤田廣登さんのもとで千代子の生家長野県の諏訪や、千代子の獄中書簡が見つかった北海道苫小牧でも、この「ああ伊藤千代子追悼

嗚呼 伊藤千代子追悼詩

— 戦争前、権力に抗して倒れし君を忘れし —

木越 暁

【字解】

● 魁^{さきがけ} 先駆けて、その元祖に

● 旁^{あまねく} 広まねく広範囲に広がること

● 拷問^{ごうもん} 肉体の苦痛を与え拷問すること

● 仇精^{あいつ} 心をあたする精神を蝕まれる

● 変節^{へんせつ} 信念、主義などを変えること。こゝでは最愛の夫・浅野晃の裏切り転向を示す

● 追懐^{おいかへ} 昔の事や人のことを思い懐かしむこと

伊藤 女子 念 魁 言
 弾 圧 時 旁 反 戦 魂
 拷 問 仇 精 耐 変 節
 追 懐 映 画 響 心 根

(上平声十三元の韻)

嗚呼 伊藤千代子追悼詩

— 戦争前、権力に抗して倒れし君を忘れし —

伊藤千代子 魁の言に念う

弾圧の時代 反戦の魂 旁 広がる

拷問 精を仇する 変節に耐え

追懐の映画 今 心根に響く

「大意」伊藤千代子の残した先駆けの言葉に思いをはせる。戦前の弾圧時代に千代子が訴えた戦争反対、ジェンダー平等などの魂の叫びは世界に広がっている。治安維持法で逮捕、拘禁、拷問で拘禁性ノイローゼとなり夫の裏切り変節に耐えるも肺炎となり獄中で青春を閉じた。その追懐の劇映画化が今、人々の心根(こころね)に響いている。

詩吟」が紹介され吟詠されているそうで、改めて伊藤千代子映画運動の広がりには驚いています。

今、政権交代へ向けての市民運動の高まりの中で、コロナ禍の閉塞感をも乗り越えた「伊藤千代子映画」支援の輪が、この詩吟も含めてさらに広まりますよう念じてやみません。

(きん)し さとる・同盟滋賀県本部幹事、新興吟詠会滋賀県支部会員)

劇映画

わが青春つきるとも
—伊藤千代子の生涯—

2022年6月全国公開(予定) 学習・PR版

映画製作を支援する全国の会
事務局 = ☎ 090-4527-1129

DVD 29分
VIDEO

100年前、権力に抗して
声を上げた女性がいた



ああ伊藤千代子追悼詩 木越 暁 (2021年5月)

一戦争前、権力に抗して倒れし君を忘れじー

伊藤千代子 魁の言に念う

弾圧の時代 反戦の魂 旁 広がる

君時代の証言者として存す

道拓く男女平等の源

東雲暗く治維法に倒る

涙を拭い其の生涯の痕を見る

拷問 精を仇する 変節に耐え

追懐の映画 今 心根に響く

〔字解〕

- ▽魁(さきがけ) 一先駆ける、その道の元祖
- ▽東雲(しののめ) 一闇から光へと移る、夜明け前の空
- ▽痕(あと) 一痕跡 一▽看(み) 一注視する
- ▽仇精 一精(心)を仇(あだ)する、精神を触まれる

〔詩意〕1905 (明治38)

年、信州諏訪で生まれた伊藤千代子が後年東京女子大学で学ぶころ治安維持法が公布され思想言論の弾圧が厳しくなります。千代子は故郷の長野で製糸工場の大争議を通じ、労働者の浅野晃と知り合い結婚。共産党と共同戦線を組んだ労働党が大躍進します。

その躍進を恐れた支配層は1928年3月15日、治安維持法による全国一斉の大弾圧を行い千代子は特高に逮捕、拷問を受けました。だが千代子は獄中のリーダーとして侵略戦争に反対し、主権在民、ジェンダー平等の社会を目指して志を貫きました。

しかし同志であり夫・浅野晃の愛節と裏切りを知り、非人間的な刑務所扱いもあって千代子は精神を触まれ、肺炎を併発、特高監視の病院で誰にも看取られることなく24歳の短い生涯を閉じました。その千代子の崇高なたたかいが戦後日本の日本憲法のいしずえになりました。映画化は時代閉塞の今日を打ち破る大きな力となっています。

嗚呼伊藤千代子追悼詩

一戦争前 権力に抗して
倒れし君を忘れじー

伊藤女子念魁言

弾圧時旁反戦魂

君時代証言者存

開道男女平等源

東雲暗倒治維法

拭涙看其生涯痕

拷問仇精耐変節

追懐映画響心根